



第 1598 回例会

平成 21 年 12 月 21 日(月)

ゲスト卓話 「GSE 訪問報告」

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. ゲスト紹介

G S E メンバー 間畠 章代様
会長ゲスト 田岡 郁敏様

4. 出席報告

会員総数 67 名 出席者数 42 名
出席率 63.64% 前回修正出席率 81.81%

5. 副会長スピーチ

みなさんこんにちは、
本日は会長が欠席のため、
代わってスピーチいたします。

今年最後の例会になります。本日、ゲスト卓話のG S E メンバーの間畠章代様よろしくお願ひします。

早いもので、本年度も半分がすぎました。来年は、1月 7 日に和歌山ロイヤルパインズホテルで創立 35 周年記念式典を開催いたします。実行委員会をはじめ、各会員の皆様のご協力をお願いします。特に親睦委員会の皆さんには、アトラクション等のお世話などご苦労をおかけしますが、みんなで、35 周年を祝いたいと思います。また、ゲストには、姉妹クラブの台湾、彰化東南ロータリークラブの皆さんも出席してくれます。忙しくなりますが、宜しくお願ひします。

みなさん、よいお年をお迎え下さい。

副会長 小椋 孝一 君



6. 幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

有田 RC

1月 7 日 (木) → 1月 7 日 (木) 18:15~

幹事 寺下 卓 君

橘家 (新春例会)

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花畠 重靖 幹事：寺下 卓 S A A :名手 広之

和歌山中 RC

1月 8 日 (金) → 1月 8 日 (金) 19:00~
ルミエール「華月殿」
新年例会
1月 22 日 (金) → 1月 20 日 (水) 18:30~
ルミエール「華月殿」
和歌山西 RC との合同例会

和歌山西 RC

1月 20 日 (水) → 1月 20 日 (水) 18:30~
ルミエール「華月殿」
和歌山中 RC との合同例会

○1月ロータリーレート

1 \$ = 90 円

7. 委員会報告

親睦委員はお残り下さい。
国際奉仕委員会

WCS の件。35 周年式典部会の件。

8. ゲスト卓話

2009-10 地区 GSE 派遣メンバー 間畠 章代様

9月 17 日から 10 月 17 日までアメリカの N Y 州に 7150 地区に G S E メンバーとして派遣して頂きました。

この 4 週間に経験させていただきました滞在中の発表をさせていただきたいと思います。まず、派遣地区 7150 地区は NY 州の北部のセントラルニューヨーク地区にあります。NY と聞いて皆さんがご想像されるマンハッタンなどの N Y C とは違い大自然に恵まれた落ち着いた地域です。N Y C からは車で 4-6 時間ほどかかるらしいです。またナイアガラの滝などには車で 2-3 時間、来年開催予定のカナダモントリオールには 7 時間ほど車でかかるとのことです。日本でいえば札幌と同じくらいの緯度です。7150 地区のガバナー、フレッドさんです。気さくでフレンドリーな方で 1 カ月の滞在の間何かとお世話になりました。いつも私たちの事を気にかけ



て下さり親切にしてくださいました。



Dewitt 市で消防士さんを 36 年されていたのですが、現在もボランティア消防団員として活躍されています。消防署の建設にも多大なご尽力を尽くされたそうです。サ

一ビス精神旺盛で、消防署の隅々まで案内してください、「ちょっと待ってね！」とどこかに行かれた？と思うと消防服に身を包まれ登場して下さったり、出動のポールから滑り下りてきて下さったり、本当に楽しませてくださいました。

地区大会についてお話をさせていただきます。

9/25(金)-9/27(日)

の午前まで3日間にわたってNY州の州都のアルバニーにて開催されました。初日は本大会で各委員からの報告があり、夜はパーティ、2日目



は本大会とレクリエーション、パーティ、3日目は本大会で終了というスケジュールでした。本大会では3日間にわたり色々なところで会議が行われていました。1日目、2日目は夜のDinner Partyがあり、私たちは初日のPartyで着物を着てプレゼンテーションをさせていただきました。他にも2010年6月に開催



される国際大会開催地のモントリオールからのゲストロータリアンもプレゼンテーションや青少年交換学生のパフォーマンス、オークションなど様々なプログラムがありました。

オークションではGSEメンバーとGSE委員長のサインをした日本酒も出店されました。1週目のUtica地区で私達のお世話をしてくれたJimmさんが落札してくださいました。皆さん日本酒に興味津々でした。

レクリエーションもいくつかプランが企画されており、私達はハドソンリバー開拓400周年祭に行きました。他にも川下りツアーやショッピングツアーもあったようですが、どれも盛況で参加できないう人もいたようです。いろんな国からの留学生の人たちがいて、日本からも東京の女の子と来ていました。



後に各地区で何人かの学生とは再会する機会もありました。

1ヶ月滞在の間に約14回の例会に出席させていただきました。御覧のように約半分以上がマルチクラブ例会でした。

例会はホテル、喫茶店、駅を改装したレストランな



べられているようでした。毎回 Happy Dollar というのがあり、1 ドルを入れながら Happy の理由を述べられていました。私達を歓迎して！とおっしゃつて下さる方多かったです。また毎回会の前に番号が書かれた券と配られます。これは最後に代表の方がくじをされて番号があたった人は前に行ってカードを引きます。決められたカードが出れば、その Happy Dollar がもらえるそうです。外れたら、次回にそのお金は回されるとのことで、ロトのようなシステムでした。私はロータリーの事をよく知らないのでわかりませんが、地区によっては高齢の方が多い地区もあり、会費も地区によっては年間 200-300 ドルというところあるそうで、皆さんの社交の場、楽しみの場である



のフレッドは多くの例会に出席され、「君たちのいるところはどこでもいっしょに参加するよ！！」といつも笑顔の Hug と Kiss で私達を出迎えてくださいました。お酒が大好きでいつもお酒を片手に真っ赤な顔で楽しんでおられました。

また、RCの活動の中に地域の方々との交流、コミュニティ活動としてスパゲティーディナーが毎週開催される地区もあり、ロータリアンの方々準備、給仕されていました。これは地域の方が確か5ドルで食事に来られる奉仕活動だったと思います。



滞在 4 週目のタリー地区では Tully RC 20 周年のお

祝いの Party もあり、また Tully 地区で活躍されている方々の表彰などもされていました。

職業研修では主に小学校に行かせて頂きました。私は英会話学校で低学年の子供を教えさせていただいている事もあり、小学校の見学は本乙に興味深く、勉強させていただきました。無料の給食、Special Education, N.Yの標準学力テスト、学校の評価、スマートボード、教授式学習ではなく、グループワーク。チームメイトの大原さんは税理士をされているので、米国公認会計士、吉田さんは投資会社に勤めているので、向こうの投資会社を見学されたそうです。また彼女はオーガニックにも興味があるという事でオーガニックファームも行かれたそうです。砂野さんは美容師さんなので美容学校、サロンを見学されたそうです。職業訓練校では高校生が安く授業の一環として資格が取れる制度があるそうでびっくりされていました。

9. 閉会点鐘

次回例会 第 1599 回例会：22 年 1 月 7 日(木)
創立 35 周年記念式典・祝宴（夫婦例会）
和歌山ロイヤルパインズホテル



ニコニコ・BOX

小椋孝一君 間畠さん GSE の報告ご苦労様です。
花田宗弘君 間畠さん GSE の報告よろしくお願ひ
寺下 卓君 致します。
昨日、宮田敬之佑さん、岡田先生ご夫
婦にお世話になりました。ありがとうございます。
角谷勝司君 田岡様、新入会おめでとう！本を発刊
いたしました。
宮田敬之佑君 田岡様ようこそ。寺下君ありがとうございます。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS ロータリーの友

12月は家族月間(Family Month)

1995-96年度ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして1995年11月のR I 理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2003年7月の同理事会において、2003-04年度ジョナサン・マジアベ会長が、家族の重要性を主眼にしたことを探り、12月を「家族月間」と指定しました。これに伴って「家族週間」は廃止されました。

ロータリーの基礎知識 ~会員の義務~

例会の出席 ロータリーは、まず「例会出席から」といわれています。標準ロータリークラブ定款第9

条に、出席に関して書かれていますが、その第1節には、「各会員は本クラブの例会に出席するべきものとする。(後略)」とあります。

例会への出席は、ロータリークラブの会員の義務の一つになっています。例会は基本的に週1回開催されます。やむを得ない事情により欠席をした場合は、その例会の前後14日以内に、ほかのロータリークラブの例会やそのほかロータリークラブ定款に定められている、他の会合に出席することによって、欠席をメークアップすることができます。

年度の半期間において、メークアップを含むクラブ例会出席率が 50%に達していない場合、所属クラブの例会総数のうち少なくとも 30%に出席していない場合、クラブ理事会が正当かつ十分な理由があると認めなければ、会員身分が終結することがあります。

日本の多くのクラブは、昼の 12 時 30 分～13 時 30 分に例会を開催しています。朝または夕方に例会を開催しているクラブもあります。例会では、食事を共にし、その間、自分たちの職業や趣味などの情報交換をして、親睦や友情を深めるとともに、会員やゲストによるスピーチ（卓話）を聞き、ビジネスや社会情勢の最新情報や、文化、歴史、科学技術などについての知識を深めています。

日本国内各クラブの例会場所・時間は、『ロータリーワンの友』3月号と9月号の折り込み、『ロータリージャパン』のホームページ www.rotary.or.jp で調べることができます。

会費の納入 ロータリークラブの会員は、会費を納入する義務があります。会費の金額、そのほかは、クラブによって異なります。

所定の期限後 30 日以内に会費を納入しない会員に対しては、クラブ幹事が書面で催告をして、その後 10 日以内に会費が納入されなければ、理事会の裁量で会員身分を終結しても差し支えないことになります。

ロータリーの雑誌の購読 国際ロータリー(R I)の機関誌は、R I世界本部で発行している『THE ROTARIAN』です。このほかに世界各地で、31のロータリー地域雑誌が発行されています。これらロータリー関係の雑誌を合わせて「Rotary World Magazine Press」と呼びます。

ロータリーの雑誌の購読は、例会出席、会費の納入と合わせて、会員義務の一つになっています。ほかの二つには会員身分の停止という罰則がありますが、雑誌の購読には罰則がないといわれることがあります。しかし、それは、正確ではありません。雑誌を購読しないと、そのロータリークラブの国際ロータリーの加盟資格が一時停止処分を受けることになるのです。

日本では、日本語で発行している『ロータリーの友』が国際ロータリーから指定されているロータリー地域雑誌です。1953(昭和28)年1月に創刊、1980(昭和55)年7月号から、国際ロータリーの公式地域雑誌(現ロータリー地域雑誌)に指定されました。

～クラブ・地区的活動～ ①

地域社会のために

日本国内にある 2,305 のロータリークラブならびに 34 の地区では、クラブ会員の専門分野を生かし、それぞれの地域の特色に合わせた、多岐にわたる活動を展開しています。特に、地域社会に根差した社会奉仕活動は盛んで、地域のニーズを踏まえ、特色のある奉仕活動を実施しています。近年は、環境問題、特に温室効果ガスの削減が話題になっていますが、環境保全に配慮して山に樹木を植えたり、市民の憩いの場である公園に植樹するといったことや、これらの問題について地域社会の人たちに知ってもらうための講演会など、さまざまな取り組みをしています。



地区やクラブ単位で、地域の子どもたち出演の市民対象チャリティーコンサートを開いたり、養護施設や老人ホームの訪問・支援をしているクラブもあります。長年職業に携わり地域社会に貢献してきた会員以外の人たちを表彰するという活動を続けているクラブもあります。

会員には、さまざまな分野の専門家がいますから、「なんでも無料相談」を企画すれば、弁護士、司法書士、建築士、医師、とたちまち相談員がそろいます。自分の職業経験を中学生や高校生に話して職業選択のヒントを提供する「出前講座」や、会員の経営する会社や商店に小学生や中学生を受け入れて働くことを体験してもらうなどの活動をしているクラブもあります。

職業奉仕を重視する（日本のロータリアン）

ロータリーの奉仕は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の 4 つに大きく分類することができます。これをロータリーの四大奉仕部門といいますが、日本のロータリアンは、中でも、職業奉仕をとても大切なものと考えています。

企業の不祥事が続く昨今、企業倫理の問題を重視し、その問題について、常に考え、自らの襟を正しています。また、自分の職業やその専門性を活用して、地域社会や国際社会に貢献しています。その例としては、小学校や中学校などに出かけて、自分の仕事について話したり、地域の祭りやイベントで法律や医療の無料相談を行ったり、また、海外へ医療奉仕に出かけたりする活動が挙げられます。

2005 年 4 月には、職業倫理をテーマに R I 会長主催祝賀会議が東京で開催され、日本全国から集まったロータリアンによって、活発な討議がなされました。

世界のために

海外の人たちへの支援としては、タイ、フィリピン、ネパールなど、アジアの人たちへの活動が中心ですが、もちろん、アフリカや南米など、世界各地の人々へも手を差し伸べています。その活動は、国内での活動と

同様に多岐にわたります。

安全な飲み水を確保できない人たちのために井戸を掘ったり、浄水器を設置したりしています。また、識字能力の向上のために、学校をつくりたり、教科書や教材を贈っているクラブもあります。さらに、医療を簡単に受けることのできない地域に出かけていき、歯科医が歯科検診や治療を行ったり、眼科医が白内障の治療をしたりという活動も行っています。

2008 年 5 月 2 日の夕方から翌朝にかけてミャンマーを襲ったサイクロンの被害者を救援するために、日本中のクラブからの義援金が国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）や赤十字を通して送られました。中には、直接ミャンマーの被災地に行き、救援物資を渡した会員もいます。外国人が救援活動に入ることが難しかった被災地にいち早く入ることができたのは、ポリオワクチンの投与、そのほかの活動を通して、同国にさまざまな支援をしてきた日本のロータリーの実績があったからです。

新世代のために

日本国内のロータリークラブや地区では、地域の若い人々を育てたり、支援したりする活動に力を注いでいます。以下に、その一部を紹介します。

・ インタークトクラブ 1960 年代に入って、世界中の青少年が共に活動できるような組織をつくろうという機運が高まり、1962 年、インタークトクラブ（Interact Club、IAC）が次々と世界各地に創立されました。

・ ロータークトクラブ インタークトクラブを継続するものとして、1968 年にロータークトが設立されました。18~30 歳を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブが提唱する世界的な団体です。

・ 青少年交換 1974 年に、青少年交換（Youth Exchange）が始まりました。国際理解と親善を促進することを目的として、15~19 歳までの高校生を対象に 1 学年度間又は休暇期間中、海外へ交換留学・交換旅行をする制度です。広く一般に公募されます。日本でも多くの高校生を海外へ派遣し、多くの高校生を受け入れています。青少年交換の相手国としては、アメリカとオーストラリアが圧倒的に多く、そのほかに、南アフリカ、メキシコ、バミューダ諸島、ブラジル、コロンビア、マレーシア、韓国、タイ、フランス、ベルギー、ハンガリー、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、カナダなどがあります。

・ R Y L A Rotary Youth Leadership Awards（ロータリー青少年指導者養成プログラム）の頭文字をとって R Y L A、ライラといいます。14~18 歳、19~30 歳の若者のためのプログラムで、国際ロータリーが 1971 年に公式に採用しました。対象年齢が二分化されているのは、多様なニーズと成長過程に対応できるようにするためです。R Y L A は、若者の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としたプログラムです。